

専門実践教育訓練明示書(様式例)

講座の名称	看護学科				
実施方法	① 通学 (昼間) ・ 夜間 ・ 土日) ② 通信 スクーリング(回数 回)				
指定講座番号(15桁)	1210009	—	1510011	—	5
講座の創設年月日	昭和54年4月1日	過去一年の講座実績	入講者数(84人) 令和4年4月入学	修了者数 (86人) 令和5年3月卒業	
講座の創設年月日	令和6年3月31日まで				
訓練期間	36ヶ月		総訓練時間	3,090時間	
1. 教育訓練目標					
①取得目標とする資格の名称、目標レベル		<input checked="" type="checkbox"/> 業務独占資格・名称独占資格 (看護師) <input type="checkbox"/> 職業実践専門課程 () <input type="checkbox"/> キャリア形成促進プログラム () <input type="checkbox"/> 専門職大学院 () <input type="checkbox"/> 職業実践力育成プログラム () <input type="checkbox"/> 情報通信技術関係資格 () <input type="checkbox"/> 第四次産業革命スキル習得講座 () <input type="checkbox"/> 専門職大学、専門職短期大学、専門職学科 () 教育訓練を通じて取得を目指す上記以外の資格等			
②①に係る資格・試験等の実施機関名称		厚生労働省			
③当該資格等を取得するための要件または受験資格等		文部科学省令・厚生労働省令で定める基準に適合するものとして、都道府県等の指定した看護師養成所学校を卒業した者又は卒業する見込みの者			
④当該技能・知識の習得が必須又は有利となる職種・職務及び習得された技能・知識が活用されている業界と活用状況		病院、診療所、行政機関、看護師養成所			
2. 教育訓練の内容					
教科 (カリキュラム)		時間	使用教材名		
別紙のとおり		3,090時間			
3. 受講者となるための要件 (この講座を受講するために必要とされている条件など)					
①受講するに当たって必要な実務経験等		特になし			
②受講者が受講に最低限有しておくべき資格・技能・知識等の内容及びその水準		高等学校卒業又は中等教育学校を卒業見込みもしくは卒業した者 高等学校卒業と同等以上と認められる者			
③その他					

〔特記事項〕

専門実践教育訓練明示書(様式例)

4. 教育訓練の受講の実績及び目標達成の状況						
(1) 資格取得状況						
① 前年度の修了者数	86	人				
② ①に係る教育訓練の入講者数	91	人				
③ ②のうち目標資格の受験者数	86	人	受験率(③/②)	94.5	%	
④ ③のうち合格者数	84	人	合格率(④/③)	97.6	%	
⑤ ①(修了者数)のうち就職者数 ※1	82	人				
⑥ ①(修了者数)のうち在職者数 ※2	0	人	就職・在職率(⑤+⑥/②)	90.1	%	
※1 前年度の修了者のうち、受講開始時に職に就いていなかった者で修了後に就職した者。 この場合、就職したとは、臨時的な仕事に就職した者は含めない。						
※2 受講開始時に既に職に就いていた者で、卒業後も引き続きその職にある者及び受講開始時に既に職に就いている者で、修了後に別の職に転職した者。						
(2) 受講修了者による講座の評価等						
① 回答者総数	86	人				
② 受講開始時の就業状況等	1 正社員	人	②A: 就業者計			
	2 非正社員、派遣社員	人				
	3 その他の就業(自営業等)	人	②B: 非就業者計			
	4 非就業	86				人
③ 就業中の受講者による講座の評価	1 処遇の向上(昇進、昇格、資格手当等)に役立つ	人	③の回答数合計 ※②Aと同数(又はそれ以下)			
	2 配置転換等により希望の業務に従事できる	人				
	3 社内外の評価が高まる	人				
	4 円滑な転職に役立つ	人				
	5 趣味・教養に役立つ	人				
	6 その他の効果	人				
	7 特に効果はない	人				
④ 就業していない受講者による講座の評価	1 早期に就職できる	8	人	④の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)		
	2 希望の職種・業界で就職できる	71	人			
	3 より良い条件(賃金等)で就職できる	1	人			
	4 趣味・教養に役立つ	5	人			
	5 その他の効果	人				
	6 特に効果はない	1	人			86
⑤ 受講者の就業状況	1 受講中又は受講修了後3か月以内に就職した	82	人	⑤の回答数合計 ※②Bと同数(又はそれ以下)		
	2 受講修了後3～6か月以内に就職した	人				
	3 受講修了後6～12か月以内に就職した	人				
	4 就職していない	4	人			86
⑥ 講座の全体評価	1 大変満足	30	人	⑥の回答数合計 ※①と同数(又はそれ以下)		
	2 おおむね満足	50	人			
	3 どちらとも言えない	6	人			86
	4 やや不満	0	人			
	5 大いに不満	0	人			
(3) 受講者、受給者の修了後の状況(就職等の状況、受講修了者による教育訓練への評価状況、受講後の職務内容変化等の処遇改善の状況、一定期間内でのキャリアアップ成果やその事例、在籍・採用企業の側の評価等)						
5. 教育訓練の受講による効果の把握及び測定の方法並びにそのレベルを受講者に対して明らかにするための具体的な方法						
1に掲げた教育訓練目標に対する技能・知識のレベル到達度の把握・測定方法	単位毎の学科試験、技術試験等					
(通信制講座の場合) スクーリングの実施場所、時期、期間・回数						

専門実践教育訓練明示書（様式例）

6. 受講効果の把握方法																	
(1) 受講認定基準 (6ヶ月ごとの出席率・定期試験、進級試験等の具体的基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率得点率70%以上で合格、補講・追試は認める																
(2) 受講認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	ペーパーテスト、演習及び課題提出																
(3) 修了認定基準 (出席率・修了認定試験等の具体的な基準)	出席率66%(2/3)以上、試験合格率得点率70%以上で合格、補講・追試は認める																
(4) 修了認定基準に係る、教育目標に対する技能・知識のレベル到達度把握・測定方法	卒業単位を満たし卒業試験合格																
7. 受講中又は修了後における受講者に対する指導及び助言並びに支援の方法																	
(1) 受講中の者に対する習得度・理解度に関する具体的な助言・指導の方法	クラス担当が質問や相談を受け、個別で指導をしている。																
(2) 受講中又は修了時における資格取得・就職への具体的なバックアップ体制 (例: 資格取得関連情報や資格関連職種の人事情報の提供方法、早期就職に向けた具体的な相談体制の整備状況)	国家試験対策を定期的に行っている。 随時相談を受け付けている。																
8. その他の事項																	
指定教育訓練実施者名及び代表者名	学校法人 鉄蕉館 (代表者名: 理事長 橋本 裕二)																
住所及び連絡先	千葉県鴨川市横渚462 TEL 04-7099-1211																
施設名称及び施設長名	亀田医療技術専門学校 (施設長: 学校長 大塚 伊佐夫)																
住所及び連絡先	千葉県鴨川市東町1343-4 TEL 04-7099-1205																
苦情受付者	氏名 松下 泰久 所属 事務室	事務担当者	氏名 鈴木 早智 所属 事務室														
連絡先	TEL 04-7099-1205		連絡先 TEL 04-7099-1205														
専門実践教育訓練経費	1. 専門実践教育訓練給付金の対象となる経費 (① + ②)		1,440,000 円														
支払い方法	① 入学料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)																
① 一括払	0 円 (令和4年度入学者のみ入学料免除)																
② 分割払	② 受講料 (税込額) (※割引・還元措置を実施した場合にはその差引き後の税込額とすること。)																
③ 両方可能	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;">第1期</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">240,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第2期</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">240,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第3期</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">240,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第4期</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">240,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第5期</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">240,000 円</td> </tr> <tr> <td style="padding: 5px;">第6期</td> <td style="text-align: right; padding: 5px;">240,000 円</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="padding: 5px;">(うち、必須教材費 円)</td> </tr> </table>			第1期	240,000 円	第2期	240,000 円	第3期	240,000 円	第4期	240,000 円	第5期	240,000 円	第6期	240,000 円	(うち、必須教材費 円)	
第1期	240,000 円																
第2期	240,000 円																
第3期	240,000 円																
第4期	240,000 円																
第5期	240,000 円																
第6期	240,000 円																
(うち、必須教材費 円)																	
	2. 専門実践教育訓練給付金の対象外となる経費 (① + ② + ③ + ④)		1,219,300														
	① 任意の教材費(税込額)	176,860 円															
	② 実習等に伴う交通費・宿泊費(税込額)		円														
	③ 施設維持費(税込額)	600,000 円															
	④ その他(法人への寄付金、PCの損害保険料、情報誌代) (税込額)	442,440 円															
	3. 総額 (1+2) (税込額)		2,659,300 円														

教育課程 (看護学科)

教育内容		科 目	単位数	時間数	教育内容	科 目	単位数	時間数		
基礎分野	科学的思考の基礎	情報科学(情報通信・情報処理)	1	30	基礎看護学	基礎看護学Ⅰ(看護学概論)	1	30		
		哲学	1	30		基礎看護学Ⅱ(感染予防・安全管理)	1	30		
		心理学	1	30		基礎看護学Ⅲ(ヘルスアセスメント)	2	60		
		論理学	1	30		基礎看護学Ⅳ(生活環境・活動・睡眠)	1	30		
	人間と生活・社会の理解	生活健康科学	1	15		基礎看護学Ⅴ(清潔・衣生活)	1	30		
		環境学	1	15		基礎看護学Ⅵ(食事・排泄)	1	30		
		人間関係論(コミュニケーション・カウンセリング)	1	30		基礎看護学Ⅶ(与薬)	1	30		
		家族社会学	1	30		基礎看護学Ⅷ(診察・検査・治療)	1	30		
		宗教学	1	15		基礎看護学Ⅸ(救急・ME)	1	30		
		倫理学	1	30		基礎看護学Ⅹ(看護研究・看護過程)	1	30		
		教育学	1	30	地域・在宅看護論	地域・在宅看護論Ⅰ	1	15		
		体育	1	15		地域・在宅看護論Ⅱ	1	15		
		外国語Ⅰ(語学)	1	15		地域・在宅看護論Ⅲ	1	30		
		外国語Ⅱ(国際交流)	1	30		地域・在宅看護論Ⅳ	1	30		
			地域・在宅看護論Ⅴ	2		45				
小 計			14	345	成人看護学	成人看護学Ⅰ(総論)	1	30		
専門基礎分野	人体の構造と機能	栄養学	1	15		成人看護学Ⅱ(消化吸収・排泄・性生殖機能障害)	1	30		
		生化学	1	15		成人看護学Ⅲ(運動機能障害・リハビリテーション)	1	30		
		解剖学	2	45		成人看護学Ⅳ(生体防御・内部環境・代謝機能障害)	1	30		
		生理学	2	45		成人看護学Ⅴ(呼吸・循環機能障害)	1	30		
	疾病の成り立ちと回復の促進	疾病治療論Ⅰ(微生物学・病理学・薬理学)		2		60	成人看護学Ⅵ(中枢神経・感覚機能障害)	1	30	
		疾病治療論Ⅱ(口腔・消化器)		1		30	老年看護学	老年看護学Ⅰ(総論)	1	30
		疾病治療論Ⅲ(排泄・泌尿器)		1		30		老年看護学Ⅱ(援助論1)	1	15
		疾病治療論Ⅳ(運動・リハビリテーション)		1		30		老年看護学Ⅲ(援助論2)	2	45
		疾病治療論Ⅴ(免疫・造血・内分泌・代謝)		1		30	小児看護学	小児看護学Ⅰ(総論)	1	30
		疾病治療論Ⅵ(呼吸・循環)		1	30	小児看護学Ⅱ(援助論1)		1	30	
		疾病治療論Ⅶ(中枢・感覚器)		1	30	小児看護学Ⅲ(援助論2)		2	45	
		疾病治療論Ⅷ(小児)		1	30	母性看護学	母性看護学Ⅰ(総論)	1	30	
		疾病治療論Ⅸ(精神)		1	30		母性看護学Ⅱ(援助論1)	2	60	
					母性看護学Ⅲ(援助論2)		1	30		
社会環境支援と役割	公衆衛生学		2	45	精神看護学	精神看護学Ⅰ(総論)	1	30		
	関係法規		2	45		精神看護学Ⅱ(援助論1)	2	60		
	社会保障制度(社会福祉・社会保障)		2	45		精神看護学Ⅲ(援助論2)	1	15		
小 計			22	555	看護の統合と実践	看護の統合Ⅰ(看護管理)	1	15		
						看護の統合Ⅱ(災害看護・国際看護)	1	30		
						看護の統合Ⅲ(臨床判断能力)	1	30		
						看護の統合Ⅳ(多職種連携)	1	15		
					臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1	45		
						基礎看護学実習Ⅱ	2	90		
						地域・在宅看護論実習Ⅰ	2	90		
						地域・在宅看護論実習Ⅱ	2	90		
						地域・在宅看護論実習Ⅲ	2	90		
						高度急性期実習	2	90		
						急性期・回復期実習	2	90		
						慢性期・終末期実習	2	90		
						小児看護学実習	2	90		
						母性看護学実習	2	90		
						精神看護学実習	2	90		
					統合実習	2	90			
					実習合計		1,035			
小 計(専門分野+臨地実習)			66	2,190						
総 計			102	3,090						